

令和5年度 課の運営方針書

産業振興部 中心市街地活性化推進課

1 課の運営方針

【課の使命】

2050年に向け中心市街地が誰にとっても居心地の良い“みんなの公共空間”＝公園都市(パークタウン)となるよう、公民が連携して都市機能の増進及び経済活力の向上を継続的に推進し、中心市街地の活性化を図ります。

【課の目標】

- 中心市街地の活性化に向け、徳山駅周辺における公共空間及び公共施設の利活用の推進、再開発事業や活性化に資する民間事業への支援等に取り組みます。
- ① 中心市街地における賑わいの創出及び回遊性の強化
第2期中心市街地活性化基本計画に基づいて中心市街地の賑わいの創出及び回遊性の強化を図ります。
 - ② 徳山駅周辺の公共空間及び公共施設の利活用の推進
徳山駅前賑わい交流施設を核として、南北自由通路、駅前広場等公共空間及び公共施設の利活用を推進します。
 - ③ 再開発事業の推進
徳山駅前地区市街地再開発組合を支援し、再開発事業を推進します。
 - ④ 商業・サービス機能の充実、街なか居住の推進
中心市街地における空き店舗対策、まちづくり活動等を一体的に支援します。
 - ⑤ 中心市街地の活性化に係る組織体制強化
中心市街地活性化協議会や㈱まちあい徳山、周南公立大学等と連携し、タウンマネジメントや賑わい創出に資する人材の育成や組織の体制強化等を図ります。

【行財政改革への取り組み】

徳山駅周辺の公共施設を対象とした包括的民間委託(PPP)の導入等により、管理運営経費の効率化と良質で持続可能な市民サービスの提供に努めます。事務分担の適正化及び担当間の相互連携により、事務の効率化に努めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

- (中心市街地活性化担当) ・徳山駅周辺整備や再開発事業を活かした面的な活性化
・公共空間及び公共施設の利活用
・徳山駅前賑わい交流施設、駅前広場及び南北自由通路の管理
・中心市街地における空き店舗対策等の実施
- (再開発推進担当) ・再開発事業の支援

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	8.2 人	うち	正職員	8.2 人	・	会計年度 任用職員	0 人	人件費	正職員	58,245 千円	会計年度 任用職員	0 千円
-----	-------	----	-----	-------	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	------

※R3職員平均給与(7,103 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	1,231,167 千円	歳出予算額	1,414,833 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	5 事業
-------	--------------	-------	--------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	7 生活基盤 3 都市拠点等の形成 1 中心市街地の拠点性の向上	第2期中心市街地活性化基本計画に基づいて、魅力ある中心市街地の再生・充実に取り組みます。また、徳山駅前賑わい交流施設を核として、駅前広場や自由通路等の公共空間及び公共施設の利活用を推進し、回遊性の促進を図ります。
2	7 生活基盤 3 都市拠点等の形成 1 中心市街地の拠点性の向上	商業・サービス機能の充実、街なか居住の推進、新たな雇用の創出等に寄与する徳山駅前地区第一種市街地再開発事業や、各種イベントなど、民間による中心市街地の賑わい創出に寄与する取組を支援し、中心市街地の賑わいを向上します。
3	7 生活基盤 3 都市拠点等の形成 1 中心市街地の拠点性の向上	中心市街地活性化に係る各事業が円滑に行われるよう、適正な予算管理、市民コンセンサス等に努めます。